



未来に向かって一步を踏み出そう

「進路選択」は、自分の未来を考え、たくさんの選択肢から自分に合った道を選んでいくこと。「選ぶ」って楽しいことです。「これを食べなさい」「これしか着られません」と言われるのではなく、たくさんの中から好きなものを選ぶのですから。「選ぶのは面倒くさい」と思っている人へ。人生は、一生「選択」です。どうするべきか、どちらに進むか、人間は常に迷い、選択するのです。その中には失敗もあります。でも、やり直し、遠回りをしても進めばいいのです。

今後の進路関係の予定を以下に示しました。進路決定において大事なことは、受け身でなく、常にアンテナを張って、自分から行動することです。

さあ、自分の未来を素敵なものにするために、みんなで一緒に一步を踏み出していきましょう。

1. 進路説明会

卒業後の進路を生徒が自ら切り拓き、進路選択に取り組む意識を高める目的で実施します。（生徒と保護者が同席で説明を聞きます）

7月3日（火）	第1回進路説明会：進路指導の基本的な考え方、上級学校の種類、入試のシステム、今年度の計画を説明します。
10月26日（金）	第2回進路説明会：都立・私立高入試要項および進路決定までの具体的な手続き等について説明します。

2. 進路関係の調査

進路に関する三者面談や相談、個別指導の際に、担任が適切な助言や支援を行えるよう、年間5回実施します

7月初旬	◇第1回進路希望調査 希望する上級学校の種類、学科名、職種等
9月中旬	◇第2回進路希望調査 1学期の評定、夏休み中の見学や学習の成果等を踏まえ、希望する具体的な学校名、事業所名
10月中旬	◇第3回進路希望調査 受験希望校、私立高校入試相談（推薦・併願優遇）の有無の確認
11月下旬	◇第4回進路希望調査 最終的な受験希望校と受験方法の意志の確認
12月上旬	◇最終的な受験校確認 2学期の評定（仮）をもとに、確定した受験校の確認と必要書類の作成依頼の提出

3. 情報の収集と提供

受験案内や各学校のパンフレットや資料を3年の各教室に置きます。また、2階の掲示板に、高校等の入試説明会や体験入学、体育祭や文化祭などの案内を掲示して紹介します。進路情報室（2階）にも詳しい資料を保管します。それらを活用して、希望する学校に足を運び、実際に自分の目で学校を見にいてください。

※進路情報室は、原則として昼休みと放課後16：30頃まで開放します。ドアが開いているときは自由に入って、資料を見ることができます。私立高校の過去問題集の貸し出しもしています。

4. 三者面談

進路決定に向けて、生徒と保護者と担任の先生の三者で検討し、決定していきます。生徒は家庭で事前に十分話し合ってから面談に臨んでください。

7月23日～ 7月31日	夏季休業中に実施。現状の確認、夏休みの有効な過ごし方や、今後の流れについて助言します。第1回進路希望調査をもとに、暫定的な進路希望を検討します。
10月30日～ 11月6日	第3回進路希望調査をもとに、私立入試相談の有無等、具体的な進路先について相談します。2学期末の評価・評定によって数種の受験パターンを考えておくといでしょう。
12月3日～ 12月11日	全校面談週間に実施。成績一覧表（仮）の評価・評定をもとに進路希望先、受験校の最終確認をします。

5. 自分の学習到達度、学力を知るための手だて

6月29日（金）	これまでの自分の学力の到達度と学習課題を確認し、目標を設定して夏季休業中に計画的な学習を進めるための資料とします。
9月6日（木）	夏季休業中の学習の成果を確認し、自分に不足している学力を知るための資料とします。
10月3日（水）	自分の学力の定着度を知るための資料とします。
11月1日（木）	進路希望先と自分の学力との関係を知るための資料とします。

学習の到達度や定着度を確認するための検査（領域別診断問題）を5教科で4回実施します。個票には、自分が復習すべき箇所、到達度に応じ苦手な領域のアドバイス、成績の推移などが掲載されます。

★進路便りは必ずその日のうちに保護者に渡し、内容について話し合ったり情報を交換したりした後、家庭で保管してください。